

歌声交歓会 大成功！

7月5日に、1学年歌声交歓会を行いました。この日を迎えるまで、各クラスとも日々歌声練習を積み重ねてきました。練習当初はみんなの気持ちがうまくまとまらないこともありましたが、歌声委員やパートリーダーを中心に、話し合ったり、呼びかけたりして少しずつ気持ちを込めた歌声を響かせることができるようになりました。この会を開催するため、歌声委員は、昼休みに集まって打ち合わせをし、当日は自分たちの手で交歓会を運営しました。

発表前は、緊張した様子でしたが、どのクラスも練習の成果をしっかりと発揮でき、歌い終わった後はほっとした表情と共に充実感や達成感にあふれていました。2学期の合唱コンクールに向けて、選曲も始まりました。今回の歌声交歓会での経験を生かしてよりよい歌声を作ってくれることと期待しています。



歌声交歓会を振り返って

1組	<p>他のクラスの歌は、声量もあり、ハーモニーがきれいで素晴らしかったです。自分のクラスに足りないところを改善し、次の合唱コンクールでは、よりよい合唱ができればいいと思いました。 (富田 香音さん)</p> <p>1組の歌は、教室での練習でも本番でも、後半の合唱の部分がきれいに響いているのが良いところだと思いました。ステージ上での並び方がうまくいかないところもありましたが、歌で優しい雰囲気が出てよかったと思います。 (藤本 玲奈さん)</p>
2組	<p>自分たちの練習の成果を発揮できたからよかったです。練習では、急な変更があり、合わせるのが遅くなりましたが、本番では楽しく歌えたからうれしかったです。練習の時より、ソプラノは声が出ていて、テノールの声も聞こえてきたから歌いやすかったです。 (上原 さゆさん)</p> <p>それぞれのクラスでいいところや直したほうがいいところを見つけることができ、とてもいい会だったと思いました。 中学生になって、初めて、自分が中心になって歌を作りましたが、みんなで作った歌にはいろいろな気持ちが乗せられてよかったです。 (鈴木 雄大さん)</p>
3組	<p>練習では音程をとったり、歌詞を覚えたりするのが大変でした。他のパートと合わせるとすぐにつられてしまって、時間内に完成するか不安でしたが、クラスが一丸となって曲を作ることができました。 (伊計 遥香さん)</p> <p>私は、大きい声を出すことやテノールの音程やリズムを意識して練習しましたが、いざ本番となると、高い場所や大人数の前といった点で緊張してしまいました。次の機会には、緊張せずに、みんなを引っ張っていくぐらいの気持ちで頑張りたいです。 (越野 潤さん)</p>
4組	<p>他のクラスは、声も出ていて体を揺らしながら真剣に歌っているのが伝わってきました。歌声交歓会を通して、声を大きく出すコツ、歌う時の姿勢など様々なことが学べたので良かったです。 (森山 千景さん)</p> <p>練習では他のパートにつられないようにする対策を提案したり、音とりでみんなが聞きとりやすいような工夫をしたりしました。音とりと自分の歌声を両立させるように練習をして、本番に臨むことができました。 (塩崎 帆乃香さん)</p>
5組	<p>他のクラスの歌声を聞いて、次はもっと声量を大きくして迫力があるようにできたら良いと思いました。テンポに合わせたり、音程をひとりひとり合わせたりすることが難しかったけれど、練習の成果を発揮して歌うことができてよかったです。 (佐藤 春向さん)</p> <p>音とりとして、少しでもソプラノの音程がとれるようになればと思いながら練習しました。本番に後ろや隣の人の歌を聞いてみたときに、とても上手だなと思ったので、音とりをやってよかったと感じました。今までの練習の成果が発揮できたので、5組で「この星に生まれて」を歌えてよかったと思いました。 (塚本 真悠子さん)</p>